

(3) 現行制度について指摘されている問題点

- 保険料段階に世帯概念を用いていることにより、いわゆる逆転現象が起きること。

世帯A	夫160万円 (第3段階)	妻70万円 (第2段階)	計230万円
世帯B	夫220万円 (第5段階)	妻0円 (第4段階)	計220万円

世帯Bの方が世帯Aより世帯収入が少ないが、保険料は、夫婦ともに世帯Aより高い。

- 世帯分離を増加させているという指摘がある。
- 「個人単位での賦課」と説明しつつ、世帯概念を用いていることが、住民に分かりづらい。